常任委員会レポート

総務

公有財産の使用について

質問 水源かん養林として整備されますが、100年の使用期間終了後はどうなるのか？

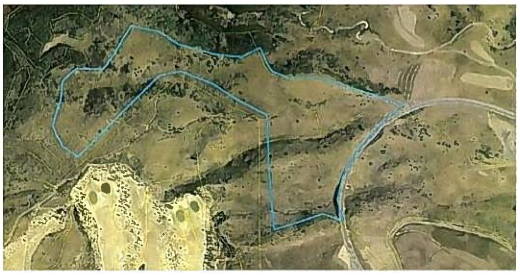
回答 熊本市との契約書の中では伐採予定期間が定められているが、水源かん養林整備が目的ですので当事者協議のうえ延長することができるとなっている。水資源確保の森林として残せるように熊本市と協議したいと思う。

地下水システム図

質問 植栽される樹木の種類は何か？

回答 山桜、山もみじ、けやき、コナラ等の広葉樹です。

※水源かん養林とは、水源を保ち育て、河川流量を調節するための森林。雨水を一時に流出させず、常に一定量をたくわえるので水資源の確保や水害防止に役立ちます。



阿蘇グリーンヒルカントリークラブ周辺

経済建設

一般会計補正

（農業委員会）

質問 改正農地法に伴う農地情報公開システムのメリット、デメリットはどうか。

回答 インターネットで公開するために、全国どこにいても農地の情報が地図で見ることができるようになる。それにより企業等の農業参入が増え、結果として農業振興につながると考える。ただ個人情報が絡んでくるので注意をして取り扱うことが必要である。

質問 農地法の改正により農地台帳を整備するとあるが、そもそも農地法はいつ改正になったのか。また委託事業となっているが、どこに委託するのか。

回答 平成25年度に改正になり、平成26年4月1日からの施行である。システムの概要がきまったのが8月だったので今回の補正になった。委託についてはＲＫＫコンピューターサービスのシステムを導入しているので、同社との委託契約となる。

意見 方向性が決まるのが遅いのではないか。前年度の法改正であれば、次年度の年度当初から施行するのが本来の姿であり、常に問題意識を持ち、確実な業務を遂行してもらいたい。

（商業観光課）

質問 肥後大津駅周辺整備完成事業に関して、実行委員会の人選はどうなっているのか。また委員会での議論は今後どう進めていくのか。

回答 なるべく多くの方々に参加してもらいたい。商工会・観光協会・ＪＡ等にも依頼予定であり、近々第一回の実行委員会を開催して1月には完成記念事業の業者を決定したい。

文教厚生

議案68号　大津町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の制定について

質問 町子ども・子育て会議のなかで、どの様な議論があったか。また、保育料についての説明はされたのか。

回答 12月2日に第6回町子ども・子育て会議を開催した。主な議論としては、「保育の必要性を定めるのに対して、幼稚園・認定こども園については何かで定めるのか」という質疑があった。「定める必要があれば、条例ではなく、規則等で定める」とした。公立の幼稚園では10月下旬に数回に分けて新制度の保護者説明会を実施した。保育料については保護者の所得に応じた応能負担を基本としつつも、近隣の市町村を参考に経過措置を設ける予定と説明した。

議案第71号　大津南小学校校区学童保育室の指定管理者の指定について

質問 指定管理者の審査は総務課の所管だが、子育て支援課も一緒に審査結果を把握して改善を図る必要はないか。

回答 審査以降は教育部が、管理・指導していく学童施設の県基準に達していない部分については今後、指定管理候補者と施設整備については協議していく。

議案73号関連
平成26年度補正予算
住民福祉部　環境保全課

質問 住宅用太陽光発電システム設置補助金は、どうなったか。

回答 昨年度は1kWあたり、2万円で上限が10万円だったが、本年度は1kWあたり、1万円で上限が5万円とした。補助申請件数は増加しているので、今回、当初予定件数を上回る見込みとなり、補正予算を計上した。